

柏農魅力発信プロジェクト

柏木農業高等学校（柏農）が持つ様々な魅力やイベント情報などを、本誌で取り上げていきます。

柏農創立100周年×青森リンゴ植栽150周年

「KIRARINGO 生半果なりんごです」を開発

学校の創立100周年と青森リンゴ植栽150周年を記念したセミドライリンゴの新商品「KIRARINGO 生半果なりんごです」を開発したとして、11月17日、生徒らが副市長を表敬訪問しました。

りんごは「紅玉」と「紅の夢」を使用し、見た目にも華やかで味も美味しい品になるよう作られ、創立100周年記念式典では参加者に配布されました。



情熱と覚悟を受け継ぎ、未来へ

創立100周年記念式典を開催

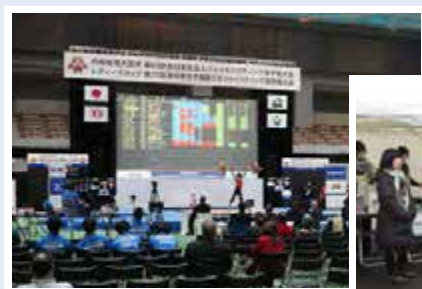
11月22日、柏農の創立100周年を記念し、式典が行われました。当日は在校生や来賓など340人の参加者が節目の年を祝いました。

小田桐校長は、「先輩方の情熱と覚悟を受け継ぎ、引き継がなければならない」と式辞を述べ、生徒代表の佐藤凜央さん（生物生産科3年）が「今後も地域に根ざした学校にしていきたい」と述べた後、全校生徒で校歌を斉唱しました。

国スポ HIRAKAWA NEWS vol.5

11月19日(水)から23日(日)まで、来年開催の「青の煌めきあおもり国スポ」ウエイトリフティング競技のリハーサル大会として、「内閣総理大臣杯第62回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会」および「レディースカップ第17回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会」がひらかわドリームアリーナで開催されました。

大会には全国から300人を超える選手が出場し、新記録を目指して力強い試技が行われました。また、アリーナ前では市内飲食店とスポーツ用品店による出店があったほか、柏木農業高校のりんごジュースと企業協賛で提供いただいたカットりんごが選手に無料でふるまわれ、平川市のPRにもつながりました。



平川市出身の
工藤慎選手も活躍！

内閣総理大臣杯
94kg級トータル
第4位入賞



〔問合せ〕 国民スポーツ大会準備室 ☎ 26-7428（ひらかわドリームアリーナ内）

千葉真由佳の 知りたい！ひらかわ

私、千葉真由佳が平川市の魅力取材し、深堀りします！
今回で、平川レポ、最終回です！



千葉 真由佳 (ちば・まゆか)
青森県出身の cent.Force (セント・フォース) 所属アナウンサー。TBS「THE TIME」出演など全国的にメディア出演実績あり。地元愛が強く、県内でもイベント司会やキャリア講師、観光 PR など多方面で活躍中。



雪が舞う季節に旬を迎える自然薯。栄養価が高く、高級で貴重なイメージを持つ方も多いかもしれません。味は濃厚で長芋よりも粘りが強いのが特徴です。以前は自然薯農家によって生産されていましたが、後継者不足などでその数は減少。そこで立ち上がったのが、地元を支える建設会社。今回は一戸施設工業代表取締役の一戸均さん、そして前号に引き続き、道の駅いかりがせき代表の桑田直樹さん、主任の千葉敦^{あつのり}さんに伺いました。



一戸施設工業の一戸さん (右)

パワーショベルが大活躍！驚きの生産方法



現在、碓ヶ関で自然薯の生産を行っているのは一戸施設工業と白戸建設の2社。毎年春にそれぞれ約1500本ずつ植えて道の駅に出荷しています。土の中で育つ自然薯は収穫時の掘り起こしが大変な作業です。そこで活きるのが建設会社が本業で培ってきた技術。「重機を使って表面の土を寄せてそのあとは感覚で一気に掘っていくんです」と話す一戸さん。熟練の技を持つオペレーターが自然薯を傷つけないよう掘っているそう。今年は虫も少なく、大きなむかごも多く実り、いい自然薯が育っているようです。

今が旬！生産者おすすめの自然薯の食べ方3選

- ①とろろの味噌汁割：すりおろした自然薯を味噌を溶いたダシ汁で割り、ごはんにかけて食べると本来の風味が引き立ちます。
- ②刺身醤油で贅沢に：シャキシャキとした食感が楽しめる刺身は旬ならではのご馳走。
- ③熱々の天ぷらで：すりおろした自然薯をまとめて揚げると甘みがじゅわっと広がります。固くなるので揚げてすぐに食べるのがポイント！



道の駅いかりがせきで大人気！自然薯たこ焼き

私がおすすめしたいのが道の駅の自然薯たこ焼き。通年販売されており、平日でも200パック、休日や連休には800パックを売り上げる大人気メニューです。出荷された自然薯を新鮮なうちに道の駅でフリーズドライ加工し、たこ焼きの材料となる粉にして生地混ぜ込みます。自然薯を入れることで風味豊かなとろみが生まれ、外はカリッと焼き上げるのが特徴。平川市のイベントなどに店出するとその味を求めてやってくる人が行列を作り、あっというまに完売。トッピングはソースや醤油など様々ありますが、「なにもかけないでちょうだい」というお客さんもいるそうです。平川市碓ヶ関に根付く自慢の逸品、自然薯。地元を支える建設会社と憩いの場所であり続ける道の駅が守る伝統の味をぜひこの冬楽しんでみてはいかがでしょうか？



★平川市のみなさまへ

今年度、コラムに目を通してくださってありがとうございました。取材で出会った皆さんをはじめ、平川市の綺麗な景色や美味しいものに出会うたび心の充電が満タンになります！取材してもしきれないくらい平川は魅力溢れる場所です。平川のファンとしてこれからも魅力を発信し続けます！